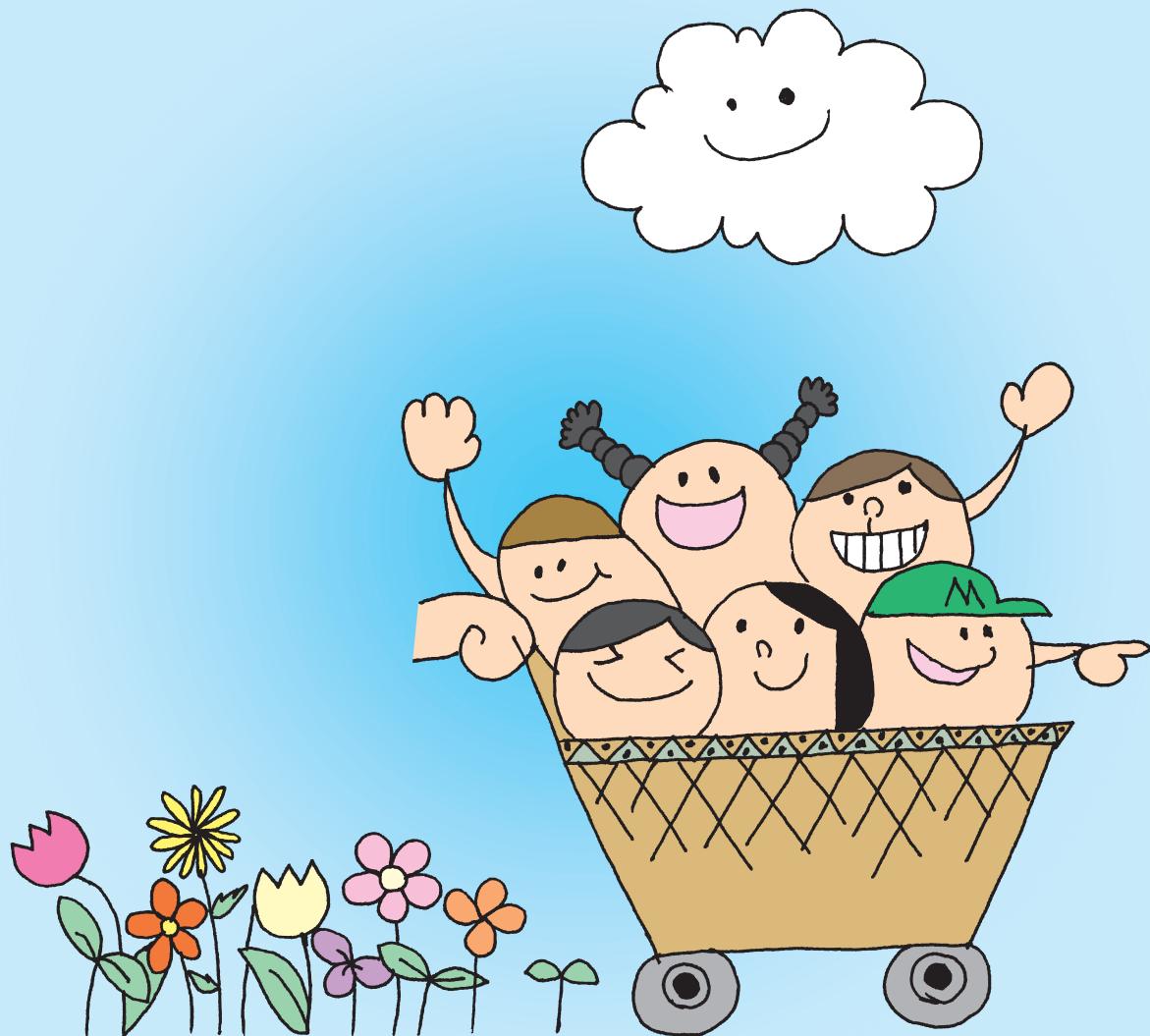


地域の実情に応じた子育て支援をすすめよう

子育て支援の事例集②



三重県民生委員児童委員協議会

児童福祉委員会

発行にあたり

児童福祉委員会では、昨年に続き、未就学児の支援についての活動事例を紹介しています。

どの民児協でも、それぞれの地域の実情に応じて行政や社協等と連携して特色ある子育て支援が行われており、児童委員と親子のふれあいが広がっているようです。

民生委員・児童委員の活動が多岐にわたり、多忙の中でご苦労も多いことだと思いますが、続けての支援活動を期待しています。

平成 25 年度につきましても活動事例を紹介していく予定ですので、ご協力いただきますようお願い致します。

(委員長 丸橋 恒子)



東員町の子育て支援について

東員町の子育て支援には学校教育課管轄の「子育て支援センター」とボランティアによって運営している「子育て応援ルーム」があります。

「子育て支援センター」では「なかよし広場」（月～金曜日開催）や「出前保育」（町内各地域に出かけ年間18回ほど実施）を行っています。その出前保育に主任児童委員と民生委員・児童委員がボランティアとして参加しています。また支援センターでは誕生会、人形劇、クリスマス会など楽しいイベントがある一方、子育てのミニミニ講座（トイレトレーニングや食事、しつけ）なども開催しています。

「子育て応援ルーム」は町社協のある建物の和室を未就園児親子に月、水曜日に開放しています。主任児童委員と複数のボランティア団体と個人ボランティアからなる子育て応援ネットが運営しています。受付をしたり、親子で楽しんでもらえるよういろいろなイベントを考え、またたくさんの人たちに利用していただけるよう毎月会合をもっています。

イベントは毎月の絵本読み聞かせや七夕会、クリスマス会、リズム遊び、おやつ教室、お母さんたちの雑談できる『子育ちカフェ』などです。



出前保育（おでかけ広場）



子育て応援ルーム 七夕

朝日町のかわいい宝物を町ぐるみの大きな輪で 子育て支援しています！！

私たちの朝日町は四日市市と桑名市に挟まれた南北4km程の小さな町です。しかし、ここ数年、住宅用地の開発等により人口が約7千人から1万人へと急増しました。特に核家族の子育て世帯が多く、町内に1箇所ずつしかない幼稚園・小学校・中学校は児童数の増加によりマンモス化してきており、ますます子育て支援の必要性が増しています。

平成21年度には、子育て支援の拠点である幼保一体化の「あさひ園」が開園しました。幼稚園と保育園の特徴を活かしながら、0~5才までの乳幼児約500名が同じ内容の教育と保育を受けることは、人間形成の基礎が養われるこの時期にとても大切で、園児も小学校へスムーズに移行できます。

また、毎月、関係機関が集まり行っている子育て支援連絡協議会では、情報交換を行い町ぐるみで子育て支援を進めております。



町の夏まつりに園児達も仲間入り

朝日町民生委員児童委員協議会では、会長を中心に委員全員で社協・行政・地域と共に協働で子育て支援に取り組んでいます。

育児相談や様々な健診・講演会では受付などのお手伝いをしたり、お母さんへの声かけやこども達との遊びを通してふれあいを大切にしています。また、必要に応じた赤ちゃん訪問、社協の親子ふれあい事業や障がい児への支援、児童館事業、夏休みの屋外映画上映会、あさひ園・学校の行事等々を通して、町民とのパイプ役として日々活動しています。



園児達のもちつきをお手伝い

子育て支援「ぴよぴよサロン」

亀山市には4つの地区民児協があり、各地区2名計8名の主任児童委員が隔月一回定例会を開催しています。定例会には、子ども支援室の先生方も同席して頂き、亀山市の乳幼児・児童の現状等の情報交換をしています。

子育て支援センター「あいあいっ子」には、市内の未就園の親子がたくさん集い楽しそうに遊ぶ姿がみられます。支援センターの一環としての「ひろば事業」が各地域に於いて開催されており、私たち主任児童委員も参加をし、地域のボランティア活動に取り組んでいます。その中の野村地区子育て支援事業を紹介します。

「ぴよぴよサロン」は、月一回地区のコミュニティセンターで開催しています。0歳～10歳までの親子が集い、季節に合った活動（鯉のぼり作り・運動会・クリスマス会等）をしたり、童謡を歌ったり、手遊びをしたり、パネル・エプロンシアターや紙芝居を読んでもらったりします。子どもたちのキラキラとした笑顔は、とっても素晴らしい、又お母さん同士で話が弾んだり、子育ての悩みを話し合ったりする中で親同士の繋がりも出来、毎月の参加を親子共々とても楽しみにしています。私たちは、そんなお母さんの話をじっと聞いてあげたり、赤ちゃんをそっと抱いてあげたりして、お母さんがホッと出来る場、ストレス解消の場になるよう願っています。

最近では、おばあちゃん、お父さんの姿も見られるようになってきました。地域の方が、気軽に参加でき、楽しい時間が過ごせるよう、又お母さんの子育ての一助になれるよう・・・そんなことを願いながら今後も活動を進めて行きたいと思っています。



かわいいこいのぼり作ったよ！



お友だちと遊ぶの楽しいよ！

御薗地区民児協の子育てサロン活動の歩み

子育てサロンの発足と経緯

主任児童委員制度が平成6年にスタートして以来、その活動について関係機関からの指示や指導がなく、何をやればいいのか全く分からぬままに過ぎていった所です。主任児童委員の役割は何か、検討した結果、次のことに取り組みました。

- ・子育て中の親の孤立をなくしていく。
- ・子育ての悩みなどの相談ができる場を作ろう。
- ・幼児同士の遊びの場を提供しよう。

以上3点の事柄を達成するためにはサロン形式で開催すれば全てが同時に進むことになります。実施するについては、民生委員・児童委員並びにボランティアの協力要請と子育てに関する講習会も開催しなくてはとの意見もあり社協に協力依頼をし、実施する事にしました。

活動内容

第1回子育てサロンを平成13年7月に開催したところ、予想を遥かに超え100組の親子が参加をして下さいました。あまりの多さにスタッフの方が戸惑ってしまい大変でしたが、少子化傾向の現在では周辺の町民の方の参加者も多く、30組くらいで推移しています。

現在の活動母体はボランティア『わたぼうし』と主任児童委員で、民生委員・児童委員も参加しています。

平成24年度 活動紹介

月	内 容	月	内 容
4	なかまづくり	10	保育園体験入園
5	紙芝居（エプロンシアター）	11	音楽会
6	七夕かざり	12	クリスマス会
7	水あそび	1	鬼の面づくり
8	親子ふれあい体操	2	子どもが喜ぶ料理づくり
9	お菓子づくり	3	お別れ会



おいしいお菓子づくり



楽しいクリスマス会

子育てサポーターとして

私たち南伊勢町民生委員児童委員協議会が子育てに関わろうと思ったのは、若いお母さん方が子どもと関わる中で、子どもの遊ばせ方などのアドバイスが出来たらとの思いで、7~8年前、未就園児とお母さんを対象に、サークル『わんぱくクラブ』を立ち上げました。季節に関する事柄や人形劇、ペーパーサート（紙人形劇）、手遊び、パネルシアター、絵本の読み聞かせ等、子どもたちが興味をもつような事を取り入れ一年間の計画をたて月2~3回実施しました。また、お母さん同士の自由な会話で癒しの場をつくったり、仲間づくりにも配慮したり、子育ての相談にも応じました。



わんぱくクラブ　自己紹介

例えば、成長の過程で少し気になる子がいたので、関係機関につないだ結果、すっかり良くなり、家族から感謝の言葉をもらい、このような支援に関われたことに喜びを感じます。早期に発見する事も私たちのやりがいのひとつです。

年度末にアンケートでお母さん方の声を聞き、次年度の参考にしてサークル活動に生かせるようにしました。4年ぐらい続いた『わんぱくクラブ』も町の『子育て支援事業』に移行し、私たちもサポーターとして関わることになりました。

子育てサポーターとして支援しているというより、お母さん方や小さい子どもたちから沢山のエネルギーをいただき、自分自身のためにやらせていただいているります。

今の少子化社会の中で“子どもたち”こそ日本の宝です。

未来の宝のため、まだまだ頑張っていきたいものです。



わんぱくクラブ　絵本の読み聞かせ

「こんにちは赤ちゃん訪問」事業を通した支援から

「こんにちは赤ちゃん訪問」事業に取り組み、5年経過しました。名張市の「こんにちは赤ちゃん訪問」は、主任児童委員が健康支援室との連携により推進しています。

私たちの活動は・・・

- *健康支援室保健師と「赤ちゃん訪問連絡会議」を開催しています。
(年8~10回)
- *家庭児童相談室等各関係機関とケース検討のための研修会を開催します。
(年1回)

昨年の東日本大震災を機に、災害時の乳幼児のいる家庭の課題について話し合いを続けました。

第1段階として、
すぐに取り組める支援を協議し、
委員がアイディアを持ち寄って・・・
「防災お役立ち帳」を作成しました。

私たちは「赤ちゃん訪問」の際に配布し、避難時に必要な物品を用意するよう啓発をしています。

このように、私たちは市内における子育て支援ネットワークの強化を目標に、委員全員で日々の活動に取り組んでいます。



これからの活動について・・・

名張市では、年間約600件の訪問が行われています。その中で、養育に不安を感じられる家庭も増加傾向にあるように思われます。訪問時には、そうしたお母さんたちの話に耳を傾けます。また、民生委員児童委員さんに支援をお願いして、地域の子育てサロンに参加してもらえるよう交流してもらう地区も増えてきています。“地域として・地域だからこそできる支援”「赤ちゃん訪問」事業では、毎月の委員間の意見交換を大切にしています。そして現在では、保健師が訪問していた養育に不安を感じられる家庭についても、各委員の判断で訪問を始めています。

しかし、訪問事業に関する委員対象のアンケート結果では、やりがいを感じつつも、負担感を感じる活動であるということが明らかになりました。

“無理なく、やりがいのある活動をめざして”私たちの今後の検討課題です。

安心して子育てができるまちへ 子育てサロン「ちびっこランド」

御浜町は…

『年中みかんの取れる町』御浜町は、人口9400人。あちらこちらで昔ながらのつながりの残る町ですが、それでも近年の核家族化の波は押し寄せ、子育てに対する悩みなどを気軽に相談できる環境が少なくなっています。そのため子育てをする家庭への支援が必要となっていました。

平成16年4月より、御浜町社会福祉協議会と主任児童委員及びボランティアと共に子育てサロン『ちびっこランド』を立ち上げました。そして、その活動に民生委員児童委員協議会として協力してきました。

立ち上げ当初は、1ヶ所でおこなっていましたが、現在は2ヶ所でそれぞれの特色をいかしながら活動しています。

ちびっこランドとは…

『ちびっこランド』は、毎月第2、4火曜日に開催しています。対象は、御浜町に暮らしている就学前の乳幼児とその保護者。参加費は、親子で100円です。

最初に立ち上げた『ちびっこランドしほら』は、お母さん方が中心でおこなわれるようになり、そこに民生委員・児童委員と主任児童委員が支援をおこないながら活動しています。

次に立ち上げた『ちびっこランドいちぎ』は、主任児童委員が中心でおこなってきました。現在も引き継いだ主任児童委員とボランティアが協力して活動しています。

それぞれプログラムは、毎月の季節行事にあわせて行い、そして、親も子どももみんなでおしゃべりしたりしながら楽しめるものになっています。



絵本の読み聞かせは大人気！みんな大きな絵本に夢中です。(しほら)



色々な色の輪を持って体を思いっきり動かします。小さい子どもも真似をして頑張っています。(しほら)



手作りのかえるのお面を頭につけ、水たまりをす~いすい♪(いちぎ)



子育て支援の事例集②

平成 25 年 2 月 28 日発行
三重県民生委員児童委員協議会
児童福祉委員会

桑名市 水谷みね子
いなべ市 川瀬 隆
四日市市 稲垣 芳則
鈴鹿市 永戸正勝
鈴鹿市 林 和枝
津 市 丸橋恒子
松阪市 川口常美
多気町 小林香代子
伊勢市 坂村春美
伊勢市 松本誠
志摩市 岡 泰子
伊賀市 中森あつ子
伊賀市 小川典子
紀北町 松永幸也

